



宇宙の星工場が閉鎖（へいさ）？



長い間、宇宙は巨大な星をつくる工場として、宇宙にうかぶガスやチリから無数の星を作り出してきました。しかし今、この巨大な工場が閉鎖されているようです。

雲のような素材をどんどん集めることで、若い星が雲の中を転がる雪玉のように大きくなり、最終的には大人の星になります。天文学者たちは、これがもはや、しょっちゅう起こらないことを発見しました。実際には、宇宙が若かった時に比べて今は、生まれる星の数が30分の一に少なくなっています。かつては盛んだった星工場が完全閉鎖に向かっていくようにみえます。

この発見は、距離がちがうところにある銀河たちに対して、星の生成を調べることでなされました。光は地球に届くのに時間がかかります。遠くはなれた銀河を見るということは、時には何十億年も前に放たれた光を見ることになります。これは、異なる距離の銀河を見ることによって、ちがった年齢（ねんれい）の銀河を見ていることになります。天文学者たちは望遠鏡を強力なタイムマシンとして使用しています。若い銀河の写真をとることはできますが、実際にはそれは非常に古い銀河なのです。

天文学者たちは星の全体の数がもう少し増えると予測し、その後、星の生産は永遠に停止するだろうと考えています。宇宙では、星はほとんど生まれてしまっていたのです。しかし、心配しないでくださいね。ほとんどの星は、まだまだ元気ですよ。たとえば、太陽は、あなたとあなたの子供、そしてそのまた子供たちと多くの世代に暖かさを与えてくれるのです。

COOL FACT

星のリサイクル；星はチリから生まれてくるだけでなく、星が死ぬとき、爆発（ばくはつ）して新しくチリをつくり出します。そしてまた、そのチリから星が生まれてきます。